



平成 27 年 12 月 10 日

各 位

会社名 ダンロップスポーツ株式会社  
代表者 代表取締役社長 木滑 和生  
(コード番号：7825 東証第一部)  
問合せ先 経理部長 藤井 崇彦  
TEL：078 (265) 3200

特別損失の計上、業績予想及び配当予想の修正、  
株主優待の中止並びに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 12 月期（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）において、下記のとおり当社が保有する連結子会社株式の減損処理を行い、これに伴う特別損失を計上することといたしましたので、お知らせいたします。

また、平成 27 年 2 月 10 日に公表した平成 27 年 12 月期通期の連結業績予想及び平成 27 年 8 月 3 日に公表した期末配当予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。また、これらを受けて、本日付の取締役会決議により、株主優待の中止及び役員報酬の減額を決定いたしましたので、併せてお知らせいたします。

業績が大幅に悪化し、配当を見送らざるをえない事態となり、株主、投資家の皆様をはじめとする関係者の皆様には、多大なるご迷惑、ご心配をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。可能な限り早期に業績を回復し、復配できるよう、全社をあげて取り組んでまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 特別損失の計上について

(1) 連結子会社株式の減損処理（個別決算）

当社が保有する連結子会社 Roger Cleveland Golf Company, Inc. は、売上高の急激な減少を主たる要因として、平成 27 年 12 月期は当初計画損益の達成が厳しい状況となっております。また、平成 28 年 12 月期においては、将来の業績回復のための一定の投資が必要であることから赤字となることが見込まれています。

こうした現状及び今後の業績見通しを勘案した結果、同社株式の実質価格が著しく下落しその回復可能性が認められないものと判断し、平成 27 年 12 月期の個別決算において減損処理を行い、関係会社株式評価損として 48 億 40 百万円（見込額）を特別損失に計上することとなりました。

なお、関係会社株式評価損の金額については、年度末の Roger Cleveland Golf Company, Inc. の純資産額に基づく計上となるため、今後変動する可能性があります。

(2) のれんの一括償却（連結決算）

個別決算において上記の減損処理を行うことに伴い、連結決算において同社に係るのれんの一括償却として 39 億 50 百万円（見込額）を特別損失に計上することとなりました。

なお、(1) 連結子会社株式の減損処理（個別決算）については、個別財務諸表のみに計上され、連結決算では消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

## 2. 連結業績予想の修正について

### (1) 平成27年12月期の通期連結業績予想数値の修正（平成27年1月1日～平成27年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成27年2月10日）	百万円 79,000	百万円 2,000	百万円 2,500	百万円 700	円 銭 24.14
今回修正予想（B）	77,700	1,200	1,500	△3,800	△131.04
増減額（B - A）	△1,300	△800	△1,000	△4,500	
増減率（%）	△1.6%	△40.0%	△40.0%	—	
（ご参考）前期実績 （平成26年12月期）	70,898	2,090	3,059	1,081	37.29

### (2) 修正の理由

平成27年2月10日に公表しました業績予想に対し、売上高、営業利益、経常利益につきましては、「1. 特別損失の計上について」にてふれました Roger Cleveland Golf Company, Inc.をはじめとする海外での売上高の減少を主な要因として、減収減益に、当期純利益につきましては、当社連結子会社にかかるのれんの一括償却 39 億 50 百万円を特別損失として計上したことにより、当期純損失となる見込みであるため、通期の業績予想をそれぞれ修正いたします。

（注）通期連結業績の確定値は、平成28年2月12日（金）発表予定であります。

## 3. 配当予想の修正について

### (1) 修正の内容

	1株当たり配当金(円)				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 （平成27年8月3日）	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 20.00
今回修正予想				0.00	10.00
当期実績	—	10.00	—		
前期実績 （平成26年12月期）	—	20.00	—	10.00	30.00

### (2) 修正の理由

当社は、株主への利益還元を重要課題の一つと認識し、業績の見通し、配当性向、内部留保の水準等を総合的に判断しながら、長期にわたり安定して株主に報いることを基本方針としており、継続的に株主に利益還元していく所存であります。しかしながら、平成27年12月期の期末配当予想につきましては、通期連結業績予想を上記のとおり下方修正したことに伴い、誠に遺憾ではありますが、前回予想の10円から無配に修正させていただき、平成27年12月末日を基準日とする期末配当は行わない予定とさせていただきます。

※上記の業績予想及び配当予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、記述されている予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

#### 4. 平成27年12月期株主優待の中止について

##### (1) 株主優待の中止について

平成27年12月31日の最終の株主名簿に記録された当社株式を100株以上所有されている株主様に対する株主優待品の贈呈は、中止とさせていただきます。

##### (2) 株主優待中止の理由

当社は株主優待制度として、毎年12月31日の最終の株主名簿に記録された当社株式を100株以上所有されている株主様に対して、その持株数に応じた株主優待品の贈呈を実施してまいりました。

しかしながら、現在市況の悪化等により当社の業績も厳しく、当社は当事業年度におきまして各種経費の削減及び収益改善に努めてまいりましたが、平成27年12月期決算におきましては特別損失の計上、配当についても減配を余儀なくされている状況が続いています。

その中で株主優待につきましても、事業環境の厳しい中で早期の黒字化を実現し、株主様に配当を実現できるよう更なる費用削減に努める必要があることから、中止することといたしました。

今般の株主優待の中止に関しまして深くお詫び申し上げますとともに、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

#### 5. 役員報酬の減額について

当社は、当社がおかれている現在の厳しい状況を真摯に受け止め、経営責任を明確化させるため、以下のとおり取締役の報酬を減額いたします。

##### (1) 役員報酬減額の内容

代表取締役社長	月額報酬の50%を減額
取締役専務執行役員	月額報酬の30%を減額
取締役常務執行役員	月額報酬の10%を減額

##### (2) 対象期間

平成28年1月から平成28年3月までの3か月間

以 上